

■コメント

1. 腸管出血性大腸菌感染症

2件(O157、O26)の報告があり、今年の累計は10件となりました。例年、10月ごろまでは多発する傾向にあります。また、子どもと高齢者は重症化しやすいので、特に注意が必要です。

予防のため、食品は十分加熱し、手洗いの励行を心がけましょう。

2. RSウイルス感染症

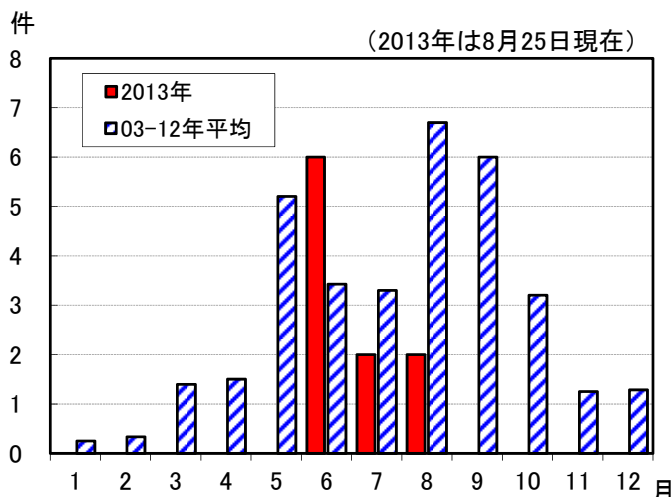
定点当たり0.74人と、例年同時期と比べ多い状態が続いていますので、引き続き注意が必要です。

3. 風しん

2件の報告があり、今年の累計は34件となりました。

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数

(2013年は8月25日現在)



前週(第33週)は、お盆期間中の医療機関休診の影響があるため、第34週の疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況(週報対象)」(下表)の発生記号の表示は、前々週(第32週)との比較で行っています。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.26		ヘルパンギーナ	10	0.43	1.33	
咽頭結膜熱	26	1.13	0.35		流行性耳下腺炎	3	0.13	0.69	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	0.65	0.34		RSウイルス感染症	17	0.74	0.11	
感染性胃腸炎	84	3.65	2.76		急性出血性結膜炎	1	0.13	0.03	
水痘	15	0.65	0.53		流行性角結膜炎	9	1.13	0.80	
手足口病	68	2.96	1.21		細菌性髄膜炎	-	-	0.09	
伝染性紅斑	-	-	0.22		無菌性髄膜炎	5	0.71	0.11	
突発性発しん	13	0.57	0.70		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.37	
百日咳	1	0.04	0.18		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	122	女性(20歳代)・1人、女性(30歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	10	男性(40歳代)・O157、女性(70歳代)・O26
4	デング熱	1	2	男性(10歳代)・推定感染地域: 国外
5	ウイルス性肝炎	1	7	男性(20歳代)・B型
5	梅毒	2	4	男性(20歳代)、男性(40歳代)
5	風しん	2	34	男性(20歳代)、男性(40歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第30週	-	36	31	108	20	246	2	12	2	25	11	8	-	10	1	1	-	-
		第31週	-	34	25	133	13	187	-	11	1	27	8	12	-	9	-	6	1	-
		第32週	-	35	22	99	21	157	-	13	-	28	6	19	1	11	-	6	2	-
		第33週	-	21	17	55	9	48	-	9	-	14	4	19	-	2	-	6	-	-
		第34週	-	26	15	84	15	68	-	13	1	10	3	17	1	9	-	5	-	-
定点当たり	広島市	第30週	-	1.50	1.29	4.50	0.83	10.25	0.08	0.50	0.08	1.04	0.46	0.33	-	1.25	0.14	0.14	-	-
		第31週	-	1.42	1.04	5.54	0.54	7.79	-	0.46	0.04	1.13	0.33	0.50	-	1.13	-	0.86	0.14	-
		第32週	-	1.52	0.96	4.30	0.91	6.83	-	0.57	-	1.22	0.26	0.83	0.13	1.38	-	0.86	0.29	-
		第33週	-	0.91	0.74	2.39	0.39	2.09	-	0.39	-	0.61	0.17	0.83	-	0.25	-	0.86	-	-
		第34週	-	1.13	0.65	3.65	0.65	2.96	-	0.57	0.04	0.43	0.13	0.74	0.13	1.13	-	0.71	-	-
	全国	第32週	0.02	0.54	0.80	2.93	0.60	7.95	0.06	0.58	0.01	2.92	0.22	0.43	0.01	0.74	0.02	0.09	0.38	0.03
		第33週	0.02	0.44	0.55	2.12	0.55	5.23	0.04	0.44	0.01	1.84	0.22	0.43	0.01	0.61	0.03	0.09	0.45	0.03

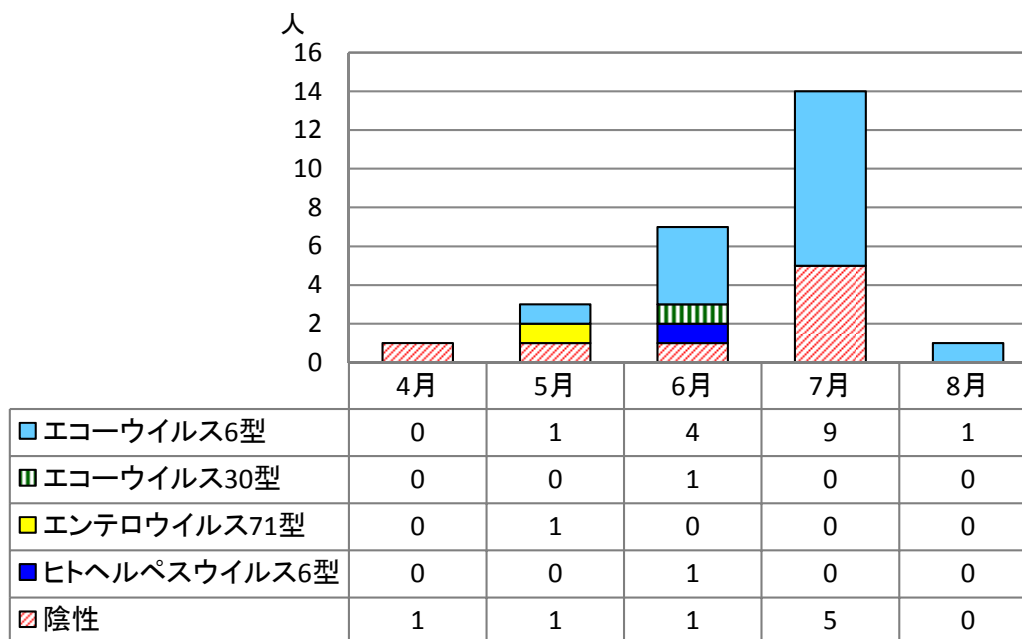
■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
無菌性髄膜炎	髄膜炎	7	男	2013/07/13	髄液	エコーウイルス6型
無菌性髄膜炎	発熱(38.1) 髄膜炎	5	男	2013/07/19	髄液	エコーウイルス6型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における無菌性髄膜炎患者からのウイルス検出状況 (8月26日までの速報分)



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2013年第34週(8月19日～8月25日)